

第15回離島対策等検討会 議事録

1. 日時 平成21年6月2日(火)10時00分～11時00分
2. 場所 日本自動車会館11階
(財)自動車リサイクル促進センター第2会議室
3. 出席者 藤井座長、渡邊委員
その他 (財)自動車リサイクル促進センター事務局、
経済産業省・環境省

4. 議題

平成20年度 離島対策等支援事業実施結果

5. 議事録

上記について、事務局より説明し、両議題とも承認された。

主な質疑・意見は次ページをご覧ください。

【主な質疑・意見】

(注)◇は委員からの質疑・意見 ◆は事務局からの説明

(1) 20年度離島対策支援事業について

- ◇経済状況の急激な悪化という厳しい状況の中、申請市町村数および申請台数とも前年度比90%を超えており離島対策支援事業は定着してきていると言える。
- ◆今後とも現地に赴き、積極的に個別課題の解決および取組みの好事例の収集等の活動を実施するとともに、21年度は新たにチラシを作成・配布し、離島対策支援事業の周知に努めていく予定である。

(2) 大規模離島での20年度申請状況について

- ◇申請・保有台数比で全国平均を下回る大規模離島が散見されるが、要因は何か。本支援事業の更なる活用促進を図る必要があるのではないか。
- ◆鉄スクラップ価格急落の影響、経済の悪化による買い控えが主要因であり、市町村および都道府県と連携し、核となる事業者育成支援等の個別課題解決支援を引き続き実施していく。

(3) 離島対策支援事業の安定・定着化に向けて

- ◇今後は、過去のデータや現地調査などをもとに、本来あるべき事業規模（廃車台数ポテンシャル）と支援スキームにおける発生予定台数の双方をより精緻に推計していく必要がある。
- ◆支援事業における実績および実情の把握に努めるとともに、本来あるべき事業規模（廃車台数ポテンシャル）を調査・研究し、構造要因の把握に努めていきたい。

(4) 燃料費変動に伴う海上輸送単価への対応について

- ◇原油価格が再び上昇し始めていることもあり、引き続き、燃料費変動に伴う海上輸送単価の動向を注視するとともに、市況に大きな変動があった場合は、改めて報告および対応をお願いしたい。
- ◆引き続き海上輸送単価の動向を注視するとともに、市況に大きな変動があった場合は、改めて報告を行う。

(5) 離島における使用済自動車放置の未然防止について

- ◇支援事業活用促進を図りつつ、「キャンペーン」を行うなどし、結果として放置自動車の撤去が更に進むようにしてほしい。
- ◆今後も核となる人の育成や情報共有など離島市町村と連携し、積極的に進めていく。なお、20年度は市町村による放置自動車の撤去に関わる好事例を5例収集し（既存分を含め計8例）、センターHPにて紹介するなどしたが、引き続き支援事業の周知に努めていく。
また、今後は、離島センター等と情報共有や連携した活動を検討していく。

以上